



石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

令和8年2月20日
発行者：練馬区立石神井東中学校
校長 市川 昌彦

主な行事の紹介

●オリンピック・パラリンピックレガシー講演会（1月22日(木)）

今回は本校に、プロ野球選手であるヤクルトスワローズの「長谷川^{ひろき}宙輝」選手をお招きしました。プロスポーツ選手との交流を通して、努力することや挑戦することの大切さを学びました。当日は長谷川選手からストレッチを教えていただきました。またワークショップとして野球部のメンバーが代表してキャッチボールを行っていただきました。生徒たちにとって、とても刺激を感じた時間でした。長谷川選手には今後の益々のご活躍を心から応援しております。



●2学年 スキー移動教室（2月1日(日)～3日(火)）

今年度は軽井沢まで、3日間の移動教室を行いました。天気は良好で、初日は歩行練習や転んだ際の立ち上がる練習、2日目はリフトに乗り、本格的に滑る練習をしました。ターンの仕方を教わったり、上級者はいろいろなコースを滑りに行ったり、自分のレベルに合わせて講習に臨みました。3日目はこれまで学んだ技術を活かし、スキーを思いきり満喫しました。また宿舎では、食事をおいしく食べたり、レクリエーションを楽しんだり、充実した時間を過ごすことができました。笑顔のあふれる、思い出に残った3日間でした。



今後の主な行事

2/23(月) 天皇誕生日（祝）
 24(火) 定期考査1日目
 25(水) 定期考査2日目
 26(木) 定期考査3日目
 27(金) ESAT-J（1,2年）
 3/2(月) 学年会議
 3(火) 校外学習（2年）
 4(水) 職員会議

5(木) 救命救急講習（3年）
 学校保健委員会
 6(金) 専門委員会
 9(月) 生徒朝礼 避難訓練
 11(水) 職員会議
 13(金) 卒業式練習（1,2年）
 奉仕活動（3年）
 16(月) 卒業式予行 食育の日
 職員会議

18(水) 卒業式準備
 19(木) 卒業式
 20(金) 春分の日（祝）
 23(月) 保護者会（1,2年）
 24(火) 学年末清掃（1,2年）
 25(水) 修了式
 26(木) 春季休業日始

お問い合わせ先電話番号 03-3996-2157
※ホームページ：<http://www.shakuji-e-j.nerima-ky.ed.jp/>



生徒・保護者アンケートの結果から（令和7年度学校評価） 石神井東中学校

★保護者の皆様より多数のご回答をいただきました。この結果を今後の改善の取組に活かしていきます。こちらには一部のみ掲載いたしましたが、多くの感謝の言葉もいただき、職員一同励まされました。ご協力ありがとうございました。

■豊かな心の醸成（学校生活、人権教育・道徳教育の充実）

生徒1		肯定的回答	
1 友人と仲良く楽しく学校生活を送っている。	1年	95.7 %	
	2年	96.6 %	
	3年	97.5 %	

保護者1		肯定的回答		「わからない」
1 生徒は、友人と仲良く楽しく学校生活を送っている。	1年	93.9 %	1.0	
	2年	92.2 %	0.0	
	3年	95.7 %	2.2	

生徒2		肯定的回答	
2 人権・道徳の授業を通して、生徒に自他の生命尊重や人権感覚、相手を思いやる心が育っている。	1年	97.8 %	
	2年	93.9 %	
	3年	96.2 %	

保護者2		肯定的回答		「わからない」
2 人権・道徳の授業を通して、生徒に自他の生命尊重や人権感覚、相手を思いやる心が育っている。	1年	80.8 %	5.1	
	2年	79.6 %	13.6	
	3年	84.8 %	10.9	

【成果】

情報モラル講習会、いのちの講演会、ソーシャルスキルトレーニング、道徳授業地区公開講座や教育活動全体で行ってきた道徳教育の成果が表れて、生徒の回答は、どの学年も肯定的回答が90%を超えています。

【方策】

自他共に尊重できる人権感覚を育成するために、すべての教育活動を通じて思いやりの心や社会性を育てると同時に、偏見や差別、いじめのない好ましい人間関係を築かせるための道徳授業の充実に努めます。

■豊かな人間性を育む生徒指導

生徒3		肯定的回答	
3 挨拶の励行や時間を守るなどの生活習慣が身に付いている。	1年	92.8 %	
	2年	95.9 %	
	3年	93.7 %	

保護者3		肯定的回答		「わからない」
3 挨拶の励行や時間を守るなどの生活習慣が身に付いている。	1年	80.8 %	0.0	
	2年	77.7 %	2.9	
	3年	94.6 %	1.1	

生徒4		肯定的回答	
4 学校生活のきまりや社会ルールに対する規範意識が身に付いている。	1年	97.1 %	
	2年	98.0 %	
	3年	98.7 %	

保護者4		肯定的回答		「わからない」
4 学校生活のきまりや社会ルールに対する規範意識が身に付いている。	1年	84.8 %	3.0	
	2年	87.4 %	3.9	
	3年	95.7 %	2.2	

生徒5		肯定的回答	
5 学校では、生徒の心情を大切に温かみのある生活指導や教育相談が行われている。	1年	95.0 %	
	2年	86.5 %	
	3年	92.5 %	

保護者5		肯定的回答		「わからない」
5 学校では、生徒の心情を大切に温かみのある生活指導や教育相談が行われている。	1年	75.8 %	12.1	
	2年	71.8 %	14.6	
	3年	84.8 %	7.6	

【成果】

生徒会や学級委員、生活委員等が中心となり、挨拶や時間を守るなどのキャンペーンを行い、取り組んでいます。生徒間のトラブルには教師が丁寧に聞き取りをし、解決に向けての指導をしています。生徒会・生活委員でいじめ一掃プロジェクトの取り組みを始めており、学校全体でいじめをなくそうという意識が育ってきています。

【方策】

今後も挨拶運動などに力を入れ、基本的な生活習慣の定着に向けて指導すると共に、生徒会を中心とした自治組織が主体となり、学校生活や社会ルールに対する規範意識を高める活動に取り組ませます。一人一人の生徒に寄り添う生徒指導・相談活動を実践していきます。生活指導・教育相談について保護者の「わからない」の回答が多くなっていますが、今後も取組をお伝えしていきます。

■確かな学力の定着

生徒6		肯定的回答	
6 授業規律が確保され、生徒の真剣に学習に取り組む姿勢・態度が定着している。	1年	89.9 %	
	2年	87.2 %	
	3年	94.3 %	

保護者6		肯定的回答		「わからない」
6 授業規律が確保され、生徒の真剣に学習に取り組む姿勢・態度が定着している。	1年	75.8 %	10.1	
	2年	64.1 %	20.4	
	3年	83.7 %	12.0	

生徒7	肯定的回答	
7 石中ベーシックメソッドの授業により、主体的に粘り強く学習に取り組んでいる。(ベーシックメソッド：学習の見通しと1単位時間の目当て(目標)を明確にした授業・対話的活動のある授業・授業の振り返りを大切にしている授業)	1年	89.2 %
	2年	86.5 %
	3年	89.9 %

保護者7	肯定的回答		「わからない」
7 学習の見通しと目標を明確にした授業・話し合いを取り入れた授業・振り返りを大切にしている授業が行われている。	1年	65.7 %	19.2
	2年	56.3 %	33.0
	3年	75.0 %	20.7

生徒8	肯定的回答	
8 学び合い活動やICT機器等を活用した分かり易い授業が行われ、生徒の基礎学力の定着が図られている。	1年	96.4 %
	2年	93.2 %
	3年	98.1 %

保護者8	肯定的回答		「わからない」
8 学び合い活動やICT機器等を活用した分かり易い授業が行われ、生徒の基礎学力の定着が図られている。	1年	63.6 %	20.2
	2年	48.5 %	32.0
	3年	67.4 %	22.8

生徒9	肯定的回答	
9 家庭学習の習慣が定着しており、自分自身の学習目標を立てて、苦手なところを補ったり、必要な学習を行えるようになってきている。	1年	77.0 %
	2年	73.0 %
	3年	83.6 %

保護者9	肯定的回答		「わからない」
9 目標をもって自身の学習調整等を図るために、生徒の家庭における学習習慣は定着している。	1年	42.4 %	3.0
	2年	46.6 %	4.9
	3年	79.3 %	0.0

生徒10	肯定的回答	
10 朝読書や一斉読書といった生徒の読書活動が活発に行われている。	1年	95.0 %
	2年	85.8 %
	3年	93.7 %

保護者10	肯定的回答		「わからない」
10 朝読書や一斉読書といった生徒の読書活動が活発に行われている。	1年	73.7 %	12.1
	2年	67.0 %	19.4
	3年	73.9 %	16.3

【成果】

生徒の回答からは、家庭学習を除く授業に関する項目では、多くの生徒が肯定的回答をしています。特に話し合い活動やICT機器等を活用した学習を全教科に取り入れて、学校全体で取り組んでいます。読書教育も図書館支援員の協力もあり、図書委員会中心に進められています。一方、学力の定着については、保護者において「わからない」の割合が多くなっているため、学習の様子がより伝わるよう情報発信していきます。また、家庭学習の習慣化については、少しずつ定着しているものの、保護者の肯定的回答が低めにとどまり、引き続き家庭での学習習慣の定着に取り組む必要があります。

【方策】

学力の定着については、保護者の回答が生徒に比べて肯定的評価が2年生を中心に低めになっています。「わからない」の回答も多く、今後、保護者の方への情報発信も含め、学校全体で主体的な学習に取り組ませるための指導を継続して行っていきます。家庭学習については、生徒・保護者ともに肯定的回答が低めになりました。家庭学習の指導にも引き続き力を入れていきます。

■安全管理、健康の保持・増進

生徒11	肯定的回答	
11 保健・給食委員会と連携した健康教育や食育に関する啓発活動が活発に行われている。	1年	90.6 %
	2年	84.5 %
	3年	88.1 %

保護者11	肯定的回答		「わからない」
11 保健・給食委員会と連携した健康教育や食育に関する啓発活動が活発に行われている。	1年	64.6 %	25.3
	2年	54.4 %	34.0
	3年	69.6 %	21.7

生徒12	肯定的回答	
12 本校の給食は、美味しく栄養バランスの良い給食が提供されている。	1年	84.9 %
	2年	89.9 %
	3年	98.1 %

保護者12	肯定的回答		「わからない」
12 本校の給食は、美味しく栄養バランスの良い給食が提供されている。	1年	73.7 %	8.1
	2年	72.8 %	13.6
	3年	67.4 %	9.8

生徒13	肯定的回答	
13 健康・体力の保持・増進に運動が必要であることへの理解が、体育授業や運動部活動を通して深められている。	1年	99.3 %
	2年	89.2 %
	3年	97.5 %

保護者13	肯定的回答		「わからない」
13 健康・体力の保持・増進に運動が必要であることへの理解が、体育授業や運動部活動を通して深められている。	1年	84.8 %	7.1
	2年	79.6 %	16.5
	3年	82.6 %	8.7

生徒14	肯定的回答	
14 避難訓練や防犯・安全教室を通して、安全や防災に対する意識が高められている。	1年	95.0 %
	2年	91.2 %
	3年	97.5 %

保護者14	肯定的回答		「わからない」
14 避難訓練や防犯・安全教室を通して、生徒の安全や防災に対する意識が高められている。	1年	82.8 %	7.1
	2年	68.9 %	21.4
	3年	80.4 %	15.2

【成果】

保健委員会では、衛生面の呼びかけや爪・ハンカチチェックなどを行ったり、給食委員会・放送委員会が協力して食育に関する活動を行っています。給食が美味しい・好きだという生徒も多くあります。体育的活動には全体の約9割の生徒が理解を深めており、また避難訓練や防犯・安全教室では様々なパターンのもを実施していますが、毎回真剣に参加できています。

【方策】

災害について考えさせる安全教育を計画すると共に、より実際に即した避難訓練を実施しています。生徒が自主的に避難行動をとる機会を作ったり、避難拠点防災訓練などへの参加を呼びかけ、地域に貢献するボランティア精神を育てていきます。防犯・安全教室の内容も、SNSの使い方なども加えた情報モラル教室等、様々な状況に対応できる訓練を設定します。

■キャリア教育の視点に立った学校行事と進路指導（キャリア教育、体験活動、部活動の充実）

生徒15		肯定的回答	
15 職業調べや職場体験、中学校卒業に向けた進路指導を通し、望ましい勤労観・職業観を育てている。	1年	84.2 %	
	2年	91.9 %	
	3年	95.6 %	

保護者15		肯定的回答		「わからない」
15 職業調べや職場体験、中学校卒業に向けた進路指導を通し、生徒の望ましい勤労観・職業観を育てている。	1年	61.6 %	25.3	
	2年	85.4 %	6.8	
	3年	93.5 %	4.3	

生徒16		肯定的回答	
16 生徒の自治力向上に向けた生徒会活動や部活動の充実、達成感や成就感を味わわせる学校行事の充実が図られている。	1年	95.0 %	
	2年	89.2 %	
	3年	93.1 %	

保護者16		肯定的回答		「わからない」
16 生徒の自治力向上に向けた生徒会活動や部活動の充実、達成感や成就感を味わわせる学校行事の充実が図られている。	1年	79.8 %	7.1	
	2年	78.6 %	13.6	
	3年	87.0 %	8.7	

生徒17		肯定的回答	
17 オリンピック・パラリンピック教育レガシーとしての活動を通して、豊かな国際感覚が養われている。（今年度は、1月に元プロスポーツ選手より講演をしていただきます）	1年	83.5 %	
	2年	82.4 %	
	3年	86.2 %	

保護者17		肯定的回答		「わからない」
17 オリンピック・パラリンピック教育レガシーとしての活動を通して、豊かな国際感覚が養われている。（今年度は、1月に元プロスポーツ選手より講演をしていただきます）	1年	56.6 %	25.3	
	2年	46.6 %	35.9	
	3年	69.6 %	17.4	

【成果】

職業に関する指導は、3年間を通じて発達段階に合わせた指導を行っております。昨年度より1年生で（株）マイナビの協力を得て、生徒の職業観を育てるアクティビティに取り組んでいます。また、学校行事には、実行委員を中心に、より主体的に取り組ませることができました。いじめ一掃プロジェクトの一環として生徒会中心の取組が始まり、生徒が主体的に人権感覚を学び、相手を思いやる態度を身に付けるための活動が進められています（この活動が評価を受け、今年度の「練馬区いじめ一掃プロジェクトにおける学校奨励賞」を受賞しました）。地域行事へのボランティア参加などにも参加者が増えています。

【方策】

「目指す15歳の姿」を明確にし、各自が学ぶ目的をもてるようキャリア教育を推進していきます。キャリア・パスポートの活用により自己理解を深め、主体的に進路を選択し、自己実現を図る能力を育成します。生徒会中心に自治活動を推進し、生徒協議会では専門委員会と共に生徒主体で人権感覚を学び、学校生活の改善について考えさせ、取組を進めさせます。オリンピック・パラリンピック教育レガシーとしてゲストティーチャーの講演を含む行事も実施していきます。

■個に応じた支援の充実

生徒18		肯定的回答	
18 生徒の個に応じた支援に向け、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等、関係機関と連携した教育相談・校内支援体制の充実が図られている。	1年	92.8 %	
	2年	81.1 %	
	3年	89.3 %	

保護者18		肯定的回答		「わからない」
18 生徒の個に応じた支援に向け、関係機関と連携した校内支援体制の充実が図られている。	1年	61.6 %	19.2	
	2年	56.3 %	33.0	
	3年	67.4 %	28.3	

		肯定的回答	
19 生徒の悩みや不安を解消するための相談活動（個人面談やふれあい週間）の充実が図られている。	1年	88.5 %	
	2年	79.1 %	
	3年	88.1 %	

		肯定的回答		「わからない」
19 生徒の悩みや不安を解消するための相談活動（個人面談やふれあい週間）の充実が図られている。	1年	64.6 %	15.2	
	2年	61.2 %	26.2	
	3年	68.5 %	22.8	

		肯定的回答	
20 学校は、いじめの未然防止や早期解決、登校渋りや不登校生徒の解消に取り組んでいる。	1年	86.1 %	
	2年	70.9 %	
	3年	79.9 %	

		肯定的回答		「わからない」
20 学校は、いじめの未然防止や早期解決、登校渋りや不登校生徒の解消に取り組んでいる。	1年	48.5 %	23.2	
	2年	53.4 %	34.0	
	3年	59.8 %	28.3	

【成果】

生徒の悩みや不安に寄り添う指導を進めながら、担任がスクールカウンセラーや心のふれあい相談員、生活支援員とも連携し、いつでも相談できる体制を進めてきました。ふれあい月間にアンケートを実施し、その結果にも丁寧に対応しています。校内の支援委員会による情報共有により、個に応じた支援に組織的に取り組むことができました。今年度より不登校対応巡回教員の指導により、校内別室指導の対応も行っています。

【方策】

今後も、教育相談活動を毎学期実施し、配慮を要する生徒の把握や不登校の未然防止と早期発見に努めていきます。特別支援教育コーディネーターを中心に研修を行い、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・スクールソーシャルワーカー・適応指導教室等と連携した指導体制により、生徒および保護者への支援を充実させます。保護者の方に支援体制が伝わっていない現状もありますので、学校だより等でお知らせしていくと共に、保護者会の回数を増やして直接お伝えする機会を持ちたいと考えています。